

東大阪市立幼保連携型認定こども園 教育・保育カリキュラム(平成30年度)

<p>教育・保育の基本</p>		<p>乳幼児期の教育及び保育は、子どもの健全な心身の発達を図りつつ生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。 ・乳幼児期は周囲への依存を基盤にしつつ自立に向かうものであることを考慮して周囲との信頼関係に支えられた生活の中で、園児一人一人が安心感と信頼感をもっていろいろな活動に取り組む体験を十分に積み重ねられるようにすること。 ・乳幼児期においては生命の保持が図られ安定した情緒の下で自己を十分に発揮することにより発達に必要な体験を得ていくものであることを考慮して、園児の主体的な活動を促し、乳幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。 ・乳幼児期における自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通してねらいが総合的に達成されるようにすること。 ・乳幼児期における発達は心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性や発達の過程に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。</p>										
<p>教育・保育目標</p>		<p>教育及び保育の生活を一体的に展開し、その中で心情、意欲、態度等を育成し生きる力の基礎を育成する。 (1)健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な生活習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図る。 (2)集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養う。 (3)身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する理解と態度及び思考力の芽生えを養う。 (4)日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養う。 (5)音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養う。 (6)快適な生活環境の実現及び子どもと保育教諭その他の職員との信頼関係の構築を通じて、心身の健康の確保及び増進を図る。</p>					<p>めざす子ども像</p>	<p>(1)安心感の中で生きていく力をもった子ども(養護) (2)心身ともに健康な子ども(健康) (3)仲間と共に育ちあえる子ども(人間関係) (4)自然に親しみ意欲的に遊ぶ子ども(環境) (5)自分の気持ちや経験を伝えあえる子ども(言葉) (6)感性豊かな子ども(表現)</p>				
<p>教育・保育目標</p>		<p>乳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ぐずりや眠り、よく食べ、よく遊ぶよう、個々の生活リズムを整える。 大人に安心して気持ちを寄せ、欲求や要求を表そうとする。 	<p>1歳児(満1歳以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを、保育教諭等や友だちに自分なりに伝えようとする。 	<p>2歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを十分に表現しようとする。 保育教諭等や友だちとの遊びの中で自分ですようとする。 	<p>3歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育教諭等や友だちと遊ぶ中で自分のしたいこと、言いたいことを言葉や行動で表現しようとする。 友だちと共通のイメージをもって進んで様々なことに取り組もうとする。 	<p>4歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちどうしの遊びの中で、たがいの行動や思いに楽しくなる。 友だちと共通のイメージをもって様々な遊びを楽しむ。 	<p>5歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな遊びに意欲的に取り組み、集団での役割を責任をもって果たそうとする。 友だちと共通の目的をもって考えを出し合ったり工夫したりしながら様々な遊びを楽しむ。 	<p>小学校教育との接続に当たっての留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。 				
<p>ねらい</p>		<p>乳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食事、睡眠、排泄等生理的欲求を満たし気持ち良い生活を送れるようにする。 ●子どもの欲求や気持ちを受けとめ、心地よさを感じられるようにする。 	<p>1歳児(満1歳以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食事、排せつ、着替え等を自分でしようとするのを見守り、援助する。 ●自分の気持ちを安心して出せるように信頼関係を築く。 	<p>2歳児(満3歳含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●簡単な身のまわりのことを自分でできるように援助する。 ●子どもの思いを受けとめる。 ●友だちのなかで安定してすごし、自己主張できるように見守る。 	<p>3歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣を身につけられるように援助する。 ●要求を受けとめ、安心して生活を送れるよう援助する。 ●子どもが主体的な生活ができるような工夫をする。 	<p>4歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本的な生活習慣が身につく、見通しを持ち生活できるようにする。 ●自らの体調の変化に気づき、衣服の調節ができるように声をかける。 ●年長への期待をもち、色々な活動に意欲的に取り組めるようにする。 ●活動を通して自信をもち、保育教諭や友だちとの信頼関係を築けるようにする。 	<p>5歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分の身体を大切に、基本的な生活習慣を確立する。 ●主体的、意欲的に生活が送れるようにする。 ●友だちどうして認め合い、みんなで達成感をもてる取り組みができるようにする。 ●ありのままの自分を受けとめ、間違っても失敗してもやり直せるように見守る。 	<p>幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育みたい資質・能力</p> <p>「知識及び技能の基礎」 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする。 「思考力、判断力、表現力等の基礎」 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。 「学びに向かう力、人間性等」 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。</p>				
<p>教育及び保育</p>		<p>ねらい</p> <p>三つの視点</p> <p>●よく食べ、よく遊び、よく眠り、24時間の生活リズムの中で、健康な身体をつくる。 ●寝返り、這う、座る、立つ、伝い歩き、歩くなどそれぞれの発達段階に応じた動きをすする。(食育)…離乳食などを通して色々な味を知り、楽しく意欲的に食べる。</p> <p>身近な人と気持ちが通じ合う</p> <p>●保育教諭との関わりの中で愛されている実感をもち、大人への信頼感をもつ。 ●発声や喃語、手さし、指さし、身振りなどで気持ちや要求を保育教諭等に伝える。 ●物の名前や簡単な言葉がわかる。</p> <p>身近なものに関わり感性が育つ</p> <p>●五感を働かせ自然物や身の回りのものに自ら関わる。 ●保育教諭等の動きに興味をもち、模倣をする。 ●快、不快を表現する。</p>	<p>ねらい</p> <p>5領域</p> <p>健康</p> <p>①明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。 ②自分の体を十分に動かし、様々な動きをしよとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣に気付き、自分でしてみようとする気持ちが育つ。</p> <p>人間関係</p> <p>①幼保連携型認定こども園での生活を楽しみ、身近な人と関わることの充実感を味わう。 ②身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。 ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p> <p>環境</p> <p>①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心をもつ。 ②様々なものに関わる中で、発見を楽しんだり、考えたりしようとする。 ③見る、聞く、触るなどの経験を通して、感覚の働きを豊かにする。</p> <p>言葉</p> <p>①言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる。 ②人の言葉や話などを聞き、自分でも思ったことを伝えようとする。 ③絵本や物語等に親しむとともに、言葉のやり取りを通じて身近な人と気持ちを通わせる。</p> <p>表現</p> <p>①身体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。 ②感じたことや考えたことを自分なりに表現しようとする。 ③生活や遊びの様々な体験を通してイメージや感性が豊かになる。</p>	<p>内容</p> <p>1才児(満1才以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歩行が確立し、生活、遊びの中で身体を使う楽しさを知る。 ●散歩に出ているいろいろな道(坂道、砂利道など)を歩く。(食育)…色々な味を知り、楽しく食べる。スプーンを使って食べる。 <p>2才児(満3才を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歩く、走る、飛ぶなど、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ●指先を使った遊びを楽しむ。(食育)…楽しい雰囲気でおもちゃを食べることに興味や関心をもつ。 <p>3才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歩く、走る、飛ぶなど、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ●指先を使った遊びを楽しむ。(食育)…楽しい雰囲気でおもちゃを食べることに興味や関心をもつ。 	<p>内容</p> <p>2才児(満3才を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歩く、走る、飛ぶなど、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ●指先を使った遊びを楽しむ。(食育)…楽しい雰囲気でおもちゃを食べることに興味や関心をもつ。 <p>3才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歩く、走る、飛ぶなど、全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ●指先を使った遊びを楽しむ。(食育)…楽しい雰囲気でおもちゃを食べることに興味や関心をもつ。 	<p>内容</p> <p>3才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊ぶの中で体を動かす楽しさを知る。 ●様々な遊具を使って楽しく遊ぶ。(食育)…みんなで一緒に作って楽しく食べる経験を共有する。 <p>4才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な遊びの中で十分に体を動かし、しなやかな体をつくる。 ●遊具や用具を安全に使い、進んで遊ぶ。(食育)…食べることを通じて物や命の大切さがわかる。栽培や調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 <p>5才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●協応動作を充実させ、自ら体を動かし調整する力を身につける。 ●見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出そうとする。(食育)…食べ物に関心を深め食事と身体の関係に興味をもつ。収穫の喜びを知り、調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 	<p>内容</p> <p>3才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊ぶの中で体を動かす楽しさを知る。 ●様々な遊具を使って楽しく遊ぶ。(食育)…みんなで一緒に作って楽しく食べる経験を共有する。 <p>4才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な遊びの中で十分に体を動かし、しなやかな体をつくる。 ●遊具や用具を安全に使い、進んで遊ぶ。(食育)…食べることを通じて物や命の大切さがわかる。栽培や調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 <p>5才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●協応動作を充実させ、自ら体を動かし調整する力を身につける。 ●見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出そうとする。(食育)…食べ物に関心を深め食事と身体の関係に興味をもつ。収穫の喜びを知り、調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 	<p>内容</p> <p>3才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊ぶの中で体を動かす楽しさを知る。 ●様々な遊具を使って楽しく遊ぶ。(食育)…みんなで一緒に作って楽しく食べる経験を共有する。 <p>4才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●様々な遊びの中で十分に体を動かし、しなやかな体をつくる。 ●遊具や用具を安全に使い、進んで遊ぶ。(食育)…食べることを通じて物や命の大切さがわかる。栽培や調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 <p>5才児</p> <ul style="list-style-type: none"> ●協応動作を充実させ、自ら体を動かし調整する力を身につける。 ●見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出そうとする。(食育)…食べ物に関心を深め食事と身体の関係に興味をもつ。収穫の喜びを知り、調理を通して自分たちで作って食べることを楽しむ。 	<p>ア 健康な心と体</p> <p>幼保連携型認定こども園における生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。</p> <p>イ 自立心</p> <p>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずやり遂げることで達成感を味わい、自信をもって行動するようになる。</p> <p>ウ 協同性</p> <p>友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる。</p> <p>エ 道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、きまりをつくらせ、守ったりするようになる。</p> <p>オ 社会生活との関わり</p> <p>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えたり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。また、幼保連携型認定こども園内外の様々な環境に関わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。</p> <p>カ 思考力の芽生え</p> <p>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにするようになる。</p> <p>キ 自然との関わり・生命尊重</p> <p>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることを覚えるようになる。</p> <p>ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようになる。</p> <p>ケ 言葉による伝え合い</p> <p>保育教諭等や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみながら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたことを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむようになる。</p> <p>コ 豊かな感性と表現</p> <p>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</p>			
<p>指導計画の作成</p>	<p>乳幼児期にふさわしい生活が展開され、適切な指導が行われるよう、調和のとれた組織的、発展的な指導計画を作成し、園児の活動に沿った柔軟な指導を行う。</p> <p>①園児の発達に即して園児一人一人が乳幼児期にふさわしい生活を展開し、必要な体験を得られるようにするために、具体的に作成すること。 ②活動がそれぞれの時期にふさわしく展開されるようにすること。また、入園当初は可能な限り個別的に対応し、園児が安心感を得て、次第に幼保連携型認定こども園の生活になじんでいくように配慮すること。 ③様々な人やものとの関わりを通して、多様な体験をし、心身の調和のとれた発達を促すようにしていくこと。 ④長期的に発達を見通した年、学期、月などの長期的指導計画や、これとの関連を保ちながらより具体的な園児の生活に即した週、日、などの短期の指導計画を作成し、適切な指導が行われるようにすること。 ⑤園児一人一人が興味や欲求を十分に満足させられるよう適切な援助を行うようにすること。 ⑥園児の人権や園児一人一人の個人差等に配慮した適切な指導を行うようにすること。</p>	<p>職員の資質向上</p> <p>質の高い教育保育の展開するため、教職員の質の向上及び専門性の向上を図るよう努める。こども園職員に求められる専門性を理解し、教育保育の質の向上に向けて園全体として取り組んでいく。園内研修、外部研修等系統的な研修計画を作成し実施する。</p>	<p>自己評価</p> <p>保育教諭等の評価(自己評価と子どもの育ちの評価の確立)</p>	<p>参考文献等</p> <p>就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(H30改訂)</p>								